



日本イタリア協会

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

法人名 一般社団法人 日本イタリア協会
所在地 〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町5
連絡先 075-466-5505(FAX5510)
ウェブ <http://www.nipponitalia.com/>
メール info@nipponitalia.com

■ 沿革 ■

法人名 一般社団法人 日本イタリア協会
所在地 〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51
設立 1966年4月28日 関西日伊協会として発足。
平成の称号と同時に、平成元年「日本イタリア協会」へと改称。
初代理事長 中川 牧三(なかがわ まきぞう) <創始者>
現理事長 中川くにこ(なかがわくにこ)



日本イタリア協会
ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

■ 目的

日本とイタリアの架け橋としての活動、クラシック音楽と芸術の普及・振興、及び、両国の音楽芸術、歴史文化、伝統の研究、指導を基に、音楽家、芸術家育成に寄与することを目的とする。イタリア国立音楽院をはじめ国立、公立、各市公的機関と共催・提携し、音楽家・芸術家の啓蒙と支援、育成、国際親善と文化交流を実現し推進する。イタリア国立音楽院・国公立芸術機関・名門アカデミア、講習会への推薦や留学支援を行う。

ルネッサンス芸術大国、音楽の源国(五線譜・クラシック楽器発祥国)イタリアならではの音楽と芸術の正統技・伝統技に触れ学ぶ、研究、研修・展覧・実演・発表の場を提供する。イタリア発祥オペラ・声楽の伝統的ベルカント発声技法伝達と歌手育成、弦楽、鍵盤楽をはじめクラシック音楽と芸術の探求に寄与する。

本協会はクラシック音楽・芸術・文化・歴史に関心を持ち、本協会の主旨目的に賛同する会員によって構成される。

■ 事業

日伊両国間の文化の交流を促進し、併せて相互の理解と協力親善を図るために次の事業を行う。

クラシック音楽と芸術普及振興を柱にイタリアと日本における相互文化の紹介、国際交流、アーティスト活動を助け育成に尽力。

- 音楽、芸術、伝統、文化、歴史を通じて日伊両国の親善・交流を図る。
- 日伊両国間の上記に関する演奏会、展覧会、講習会、研究会、発表会、実演会、等を開催、または後援をする。
- わが国の秀れた音楽・芸術家育成のために、イタリア留学への支援、推薦、指導をする。
- 毎年、以下のコンコルソ(コンクール)を開催する。

イタリア声楽コンコルソ(毎日新聞社共催、イタリアオペラコンクール)、
コンコルソMusicArteムジカルテ(音楽全部門のコンクール)「イタリアピアノコンコルソ」(ピアノコンクール)に於いての
コンコルソ優勝者をはじめ、将来性のある優秀な受賞者や入選者を、イタリア国立音楽院(授業料免除)へ推薦する。
「日本代表」としてイタリア世界遺産国際フェスティバルへ出場推薦する。

- 日伊両国間の音楽・芸術・歴史・文化資料の収集や調査研究する。
- イタリア各地の国立音楽院と提携し体験留学や特別演奏会を開催する。
- 日伊両国における国立、公立、各市機関、世界文化遺産、重要文化財等と提携し、国際交流イベント、クラシック音楽演奏会、芸術展覧会、伝統文化披露会などの開催する。
- 会の目的を達成するために必要な文化事業の開催をする。



世紀のテノール、マリオ・デル・モナコ氏との厚い親交

関西日伊協会(日本イタリア協会)主催でイタリア北部のマニン宮殿で毎年開かれた特別声楽講座はマリオ・デル・モナコ氏の他界まで5年間続けられた。

雲上の正規のテノール、マリオ・デル・モナコ氏が無二の親友である中川牧三の願いに応じて日本人のために開いた世界初の特別声楽公開講座は、ヨーロッパをはじめ世界の楽団を驚かせた。



日本イタリア協会・初代副会長 朝比奈隆氏(指揮者)

中川牧三(陸軍参謀部幕僚/文化部兼任)推薦により、東洋一といわれた上海オーケストラ指揮者に後継者として任命・抜擢された。これを機に指揮者への道が開かれた。

同氏は当協会発足以来2001年12月29日逝去に至るまで、本協会副会長を担う。役員も多くは戦前からの活動にも参加している。



▲左端・五十嵐喜芳(初出演)、右端・指揮者・中川牧三
・・・東京交響楽団/日本初演・オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」の貴重な公演写真。日本人に驚き・感銘・感動の嵐を巻き起こした。



発足前・戦前より、数多の活動で音楽振興に命を注いでいた。左写真は、京都一高、二高、一商、二商、当時の日本のエリート達を自ら指導して吹奏楽団を結成時のもの。
世界の流行の最先端イタリアオペラの名曲やラヴェルのボレロからラテン音楽・ヨーロッパのエスプリを戦前の円山公園で披露し、会場を埋め尽くした。

■ 創 始 者

Gran Maestro Makizo NAKGAWA
グラン・マエストロ 中川 牧三 略歴

- ・1902年・・・京都市中京区に生まれる。
- ・1910年・・・ヴァイオリンを学びはじめる。
- ・1920年・・・より声楽をモンテ・カルロ王立劇場で活躍したソプラノ、オルガ・カラスロワ氏に、和声を菅原明朗氏に、指揮を近衛秀麿氏に師事。
- ・1930年(昭和5年)・・・恩師、近衛秀麿氏(筆頭華族近衛家の子息で貴族院終身議員、当時の内閣総理大臣近衛文麿氏の実弟、新響[現在のN響]の創始者)に後見人として伴われ、ドイツ、イタリア、アメリカへと留学。ドイツではベルリン国立音楽院に留学。指揮法を巨匠オット・クレンペラー、作曲を巨匠ヒンデミット、ヴァイオリンを巨匠カール・フレッシュ氏に師事、声楽をワイセンボーン氏に師事。後にミラノに移り、イタリアのベルカントオペラを研究するためミラノヴェルディ国立音楽院と国立スカラ座歌手養成所へいずれも初めての日本人学生として入学。また、発声の先生として当時最も名高い、アルフレッド・チェッキ氏に師事。



◀二人で嵐山を散策。
◀中川家の縁側でくつろぐ近衛秀麿先生
共に牧三が撮影。近衛先生のこの写真フィルムは貴重なガラス製。牧三は幼少の頃からカメラが大好きで、自室には押入れを改造した現像室があった。



◀同志社学生時代の友人らを引率してクワルテットを組む。
母「こと」は四人の楽器とコスチュームをしつらえてくれた。(母は牧三のよき理解者であった)

・1932年(昭和7年)・・・ピアチェンツァ王立歌劇場に初めての日本人歌手としてデビュー。トスカニーニ夫妻はじめ、ラベルやマスカーニ、ジョルダノら、往時の隆盛を極めた音楽家らとの華やかな交流は、当時の社交界の注目と関心を集めた。後に、音楽学とスパルティートを師事していたマルティーニ教授が米国からの招聘で移籍されるのを機に渡米、州立南カリフォルニア大学へ入学。引き続き教授のもとで音楽学とオペラ史を本格的に研究。ハリウッド映画の名門「MGM」会長夫妻の推薦で当時の超一流シアターと云われたハリウッド随一のチャイニーズ・グロマン劇場に於いて、初めての日本人としてリサイタルを開催。



▲ハリウッド映画の名門MGMにスカウトされた時にMGMが撮ったプロマイド写真

・1935年(昭和10年)・・・演奏活動の最中、戦雲急を告げ、やむなく急遽帰国。帰国後、学校教育や音楽活動と相まって、国民運動として全日本合唱連盟や全日本吹奏楽連盟など数々の音楽活動団体を創設、音楽普及運動に傾注した。当時京都で黄金時代を迎えた日本映画界や、教育界の枢軸的な指導者としても活躍。



◀ヨーロッパ・アメリカから帰還した際の新橋駅にて。ピクチャー所属の後輩歌手(渡辺はまこ、四谷文子ら)が出迎えにかけつけた。

第二次世界大戦勃発後、「日独伊三国同盟」に於いて唯一人の陸軍代表として上海での日独伊外交を遂行。中支派遣軍総司令部参謀部付幕僚として上海陸軍報道部も兼務。スポークスマンを努めるかたわら文化担当将校としても活躍。当時ヨーロッパの最高水準を誇った「上海市交響楽団」や「ロシアンバレエ」を自ら指揮し、監督も兼任しあらゆる面で支援した。

近衛秀麿、山田耕筰、朝比奈隆、服部良一、李香蘭、白井鉄造、小牧正英はじめ、日本各地から八十数名の音楽家や文学者、舞踊家などを次々と上海へ招聘。「東洋のバリ」「東洋の魔都」と称された華麗なる上海で文化運動を推進し、戦後の日本文化に大きな影響を与えた。迫害を受けた多くのユダヤ人を人道保護し、騎士道を貫いた数々の功績や、戦渦の上海で繰り広げた、国境を越えた平和的文化活動が後の国際裁判の軍事法廷でイギリス人らの証言によって次々と明らかにされ話題となった。



左から二人目・五十嵐喜芳(初出演)▶
右から二人目・指揮者・中川牧三
・・・東京交響楽団/日本初演・オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」の貴重な公演写真。日本人に驚き・感銘・感動の嵐を巻き起こした。



◀オペラ・リゴレット

終戦後まもなく、進駐軍と毎日新聞社の全面的な支援のもと、関西における最初の本格的なイタリアオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を東フィルを招聘して上演。引き続き「パリアッチ」「リゴレット」「椿姫」「蝶々夫人」「オルフェオ(本邦初演)」「ルチア(本邦初演)」「アミーコ・フリッツ(本邦初演)」、演出、指揮、翻訳まで全てを自ら手がけて指導し、近畿の各地において次々と上演。現在の関西のオペラの基礎を拓いた。

音楽教育に携わる傍らで、大阪音楽大学をはじめ、関西各地の大学の創設を支援。日本に於けるオペラの開拓者としての功労を遂げてオペラの第一人者としてイタリア政府から「カヴァリエレ・ウフィチャーレ」を叙勲。

▶テレビのない時代、日本発のコーラスをラジオ全国生放送、瞬間に大人気放送となった生演奏番組は全国に熱狂的な多くのクラシックファンをつくり、彼らの憧れとなった。日本で初めてNHK合唱団を設立、連日の全国版ラジオ生放送で日本中の関心を集めて「合唱」というものを広めた。





▲牧三が愛した、風景。 ポローニャの中川牧三邸にて。



▲生誕一世紀記念演奏会(2004) 京都コンサートホールでの一幕。



▲牧三102歳。黒柳徹子さんと・・・。



・1959年・・・イタリア、ブッセート市主催「ヴェルディ国際声楽コンクール」へ初の邦人審査員として招かれ、運営委員及び審査員を24年間務め、わが国の声楽家をイタリアへ導く基礎を築いた。併せてプッチーニコン、マリア・カナルスコン、ヴェローナコン、ジリーコン、マリオ・デル・モナココン、トゥーティ・ダルモンテコン、トレヴィーゾコン、ローザ・ポンセルコン、コセンツァコン、セニガリアコン、ストウレーザコン、ベッリーニコンほか、数々の国際コンクールへいずれも最初の日本人審査員として多年に亘って招かれ、実行委員並びに審査員を逝去まで務める。

国内では「日本音楽コンクール」(毎日新聞社・NHK主催)全部門の運営委員及び審査員を38年間努め、「全日本学生音楽コンクール」(毎日新聞社主催)を創始、毎日新聞社の文化活動に数多く携わり援助した。

・1969年より・・・「イタリア声楽コンコルソ」(日本イタリア協会・毎日新聞社主催)を、創始主宰、審査委員長をつとめる。国内コンクールとしては創設当時より他に類をみない国際水準の審査と方針を貫き、加えて参加者全員に高い水準のコンシリオを与える機会を設け、「講習会付のコンコルソ」と内外から高い評価を得ている。二部門のコンコルソ優勝者以外にも、有能なマテリアルを持つ多くの留学希望者を次々とイタリアの国立音楽院へ導き、日本に於けるイタリア音楽の普及に貢献。

欧米諸国より、名高い歌手や演奏家、教育家、学者などを、民間としてはいち早くから招聘し、数々の講習会や演奏会等を開催、我が国に於けるベルカント継承の草分けとなった。それらの活動は「日本イタリア協会」として引き継がれている。

- ・1995年 裏千家 千宗室家元を名誉会長としてお迎えする
- ・2000年 「マルタ騎士勲章」授受
- ・2001年 「マルタ・大騎士大使勲章」(グラン・アンバシャトーレ勲章)授受
- ・2004年 2月と4月、101歳世界最高齢の現役指揮者としてオーケストラを指揮し話題となった。
- ・2004年 国際ソロプチミスト日本財団「千嘉代子賞」授受
- ・2005年 京都府文化賞「特別文化功労賞」授受
- ・2005年 文化庁長官表彰 授受
- ・2005年 イタリア政府より
最高位の勲章『連帯の星』『グランデ・ウフィチャーレ勲章』授受
- ・2008年 逝去後、天皇陛下の御裁下並びに閣議決定により「旭日小綬章」が追贈された。

ヴィヴァルディ国際学会名誉会員 日本イタリア協会会長

実父は京都市葛野郡会議長を明治、大正に亘って努めた故中川源太郎。

実兄は京都府会議長、衆議院議員、日本遺族会創始者で初代会長の故中川源一郎。



2006年5月12日
イタリア政府最高位勲章
グランデ・ウフィチャーレ勲章叙勲
イタリア大使館大使公邸・授与式と祝賀会が
催された。



▶左より、
大谷 冽子氏、
山口 淑子(李香蘭) 氏、
中川 牧三。



■親交・・・トゥーティ・ダルモンテ、ベンジミニャーノ・ジューリ、ジーノ・ベーキ、ジョルジョ・ファバレット、レナータ・テバルディ、ジュリエッタ・シミアナート、ジョゼッペ・タッディをはじめ、多くのオペラ黄金時代の巨匠らとの戦前からの深い親交は周知の通りで、殊に世紀のテノールと呼ばれたマリオ・デル・モナコ、ヴェルディコンクール創始者で名テノールのアレッサンドロ・ジリアーニとは1930年イタリア留学当時以来の同門の仲で無二の親友であった。



▼レナータとの再会。スコットとマリオ・デル・モナコ国際コンクールにて・・・

▲1984年4月、レナータ・テバルディを日本へ招聘し、夢の公開レッスンを、東京都と大阪で実現。大巨匠の来日に全国の声楽家やオペラファンが驚いた。牧三との深い友愛が、この奇跡を生んだ。



▲團 伊玖磨氏(左)と、中川牧三私邸にて・・・



▲世紀のテノール、マリオ・デル・モナコの邸宅にて・・・



▲半世紀以上の親友、ジュリエッタ・シミアナート(シミアナート宅)



▲テバルディ邸にて

▲カルロ・ヴェルゴンツィとレナータテバルディヴェルディコンクールの審査の合間(牧三撮影)

◀ジョルジュ・ロールミと、ブラシド・ドミンゴ。メトロポリタンオペラの応援に駆けつけた際。



▲故・河合隼雄先生(当時文化庁長官)と牧三。共著「101歳の人生をさく」出版披露パーティ(東京・教徒)



◀日比谷公会堂を皮切りに戦雲あやしくなるまで、全国各地で演奏会を開催。ピアノ伴奏 高木東六と共に、



日伊親善
国際事業

留学支援
音楽育成

コンクール
(コンクール)開催

特別演奏会
セミナー
演奏会

■ イタリア声楽コンクール ～CONCORSO LIRILA ITALIANA～



事業内容 イタリアオペラの声楽コンクール
 主催 毎日新聞社 日本イタリア協会
 後援 文化庁、イタリア大使館、イタリア文化会館、
 京都市、京都府教育委員会、愛知県教育委員会 ※歴代含む
 提携/協力 フィレンツェ市、ヴィチエンツァ市、京都市、ユネスコ、
 ミラノヨーロッパNATO安全評議会、ヴェッキオ宮殿、テアトロ・オリンピコ、
 クザーニ宮殿、ダンテの家、ヴィチエンツァ国立音楽院、フィレンツェ国立音楽院、
 ミラノ国立音楽院、ヴェローナ国立音楽院、ヴェネツィア国立音楽院、
 アニェッリホール、フィリアホール、けやきホール、京都国立博物館、京都・鷲峰山高台寺、
 浦安音楽ホール、東京藝術大学、武蔵野音楽大学、武庫川女子大学、
 名古屋芸術大学、徳島文理大学、桐朋学園大学、神戸女学院大学、くらしき作陽大学、
 国立音楽大学、大阪芸術大学、エリザベト音楽大学 歴代含む

概要/目的 イタリアは五線譜やピアノ、ヴァイオリン、オペラなどクラシック音楽の基礎・洋楽器の生まれた国、イタリア発祥究極の技であるベルカント唱法をわが国に伝えるため、正統な技術を受け継ぐ継承者育成のために若い素質に恵まれた人々を選び、ベルカントの本場イタリアへ送り、厳しい修練の中で伝統ある技巧と芸術精神を学んでもらうと云うもの。永年に亘り確固たる主旨の基、イタリアの名門国立音楽院や巨匠の元へ多くの日本人を導き、古い歴史と由緒正しい芸術の国、イタリアの芸術観や文化、技術、知識を修得してもらい、わが国の文化向上と国際力の向上に努める。
 ……2018年度には、第48回を迎える。

部門 ミラノ大賞部門 <26歳まで> シエナ大賞部門<37歳まで> ロイヤルティガー国際部門<年齢・国籍不問>
 ※受賞者には賞金(留学・教育資金)ほか、スカラシップや国際フェスティバル出場資格等、支援・教育が与えられる。

総務委員長 中川 くにこ (日本イタリア協会理事長)
 審査委員長 M^Q.小林 一男 (元国立音楽大学教授 第4回ミラノ大賞受賞)
 招聘審査委員 M^Q.アルベルト・クピード
 運営委員 アルベルト・クピード (日本イタリア協会理事)
 カルミネ・カッリージ (元ボローニャ国立音楽院学長)
 パオロ・トロンコン (ヴェネト州国立音楽院総裁・カステルフランコ国立音楽院学長)
 フランチェスコ・ボレツィ (元ミラノ国立音楽院総裁)
 マルチェッラ・レアーレ (Sop. 愛知県立芸術大学教授 東京芸術大学元教授、他)
 ルチアーノ・アルベルティ (元シエナ国立音楽院学長)
 服部 克久 (日本作曲家協会会長、東京音楽大学客員教授)
 天野 春美 (大阪音楽大学元教授)
 伊藤 晶子 (名古屋音楽大学元講師)
 岡田 晴美 (神戸女学院大学名誉教授)
 門屋 菊子 (相愛大学名誉教授)
 黒田 安紀子 (第1回シエナ大賞受賞)
 塩田 美奈子 (第19回シエナ大賞受賞 国立音楽大学講師)
 松波 千津子 (名古屋芸術大学教授)



▲左から、マエストロ ルチアーノ・アルベルティ、マエストロ フランチェスコ・サヴェリオ・ボレツィ、マエストロ カルミネ・カッリージ、マエストロ アルベルト・クピードの面々。イタリアの最重要鎮に、このコンクールのために長年にわたって尽力頂いている。



▲第37回 表彰式

第42回 表彰式
 左から、マルチェッラ・レアーレ(Sop) 総務委員長中川くにこ(現理事長・Sop)、黒田安紀子・クピード(Sop.)、アルベルト・クピード(Ten.)



▲第42回 審査風景



▲日本で初めて NHK合唱団を設立し、「合唱」というものを全国に広めた70年以上前の在りし日……。音楽と平和を愛する中川牧三の真心と願いは、今なお、声楽コンクールを筆頭とした音楽振興・支援・教育へと受け継がれている。

1995 新宿文化センター



ミラノ大賞/森麻季・シエナ大賞/畔柳幸代・主審査員/M^Q.中川牧三, M^Q.アッパード, M^a.デューク, M^Q.チチャーゴフ, M^a.伊藤京子, M^Q.五十嵐喜芳, M^a.小野光子ほか

2000 紀尾井ホール



M^Q. 中川牧三
 中島健一郎氏 毎日新聞社 常務取締役
 M^Q.アッパード, M^Q.カッリージ
 ミラノ大賞/中島康晴
 山田宏氏 (株) 松下電器産業社会文化部長



松本耕司氏
 (株) 松下電器産業
 社会文化グループ
 マネージャー



シエナ大賞/杉谷直信
 ミラノ大賞/小山敦子
 金賞/浅原孝夫, 阿野康子
 M^Q. 中川牧三,
 M^a. パコーチェビッチ
 M^a. レアーレ,
 G. トゥリッチーノ イタリア公使

東京芸術劇場 2002

日伊親善
国際事業

留学支援
音楽育成

コンコルソ
(コンクール)開催

特別演奏会
セミナー
演奏会

■ コンコルソMusicArte<ムジカアルテ> ~Concorso MusicArte~

事業内容 音楽コンクール(器楽・声楽・クラシック全部門:邦楽部門)

主催 日本イタリア協会

後援 文化庁、イタリア大使館、イタリア文化会館、
京都市、京都府教育委員会、愛知県教育委員会、浦安市教育委員会 ※歴代含む

提携/協力 フィレンツェ市、ヴィチエンツァ市、京都市、ユネスコ、
ミラノヨーロッパNATO安全評議会、ヴェッキオ宮殿、テアトロ・オリンピコ、
クザーニ宮殿、ダンテの家、ヴィチエンツァ国立音楽院、フィレンツェ国立音楽院、
ミラノ国立音楽院、ヴェローナ国立音楽院、ヴェネツィア国立音楽院、
アニェッリホール、フィリアホール、けやきホール、京都国立博物館、京都・鷲峰山高台寺、
浦安音楽ホール、名古屋芸術大学 ※歴代含む

概要/目的 2009年わが国の音楽芸術の発展を願って、感性と教養ある国際人として馥郁と輝く「世界へ飛翔くスター」を育てる音楽
コンコルソ(コンクール)として創設。2018年度には、第10回を迎える。
日本代表にふさわしい品格と技能を持つ優秀者は、国内外の一流舞台での演奏会・国際親善・フェスティバルへの出場権利
が与えられている。その筆頭として、イタリア屈指の歴史的劇場や世界遺産での国際フェスティバルに出場できる。これは、
1966年4月28日に発足し、我が国におけるクラシック音楽・芸術の普及・振興・国際親善・音楽家の育成の祖として、長年
活動を続ける当協会とイタリア各市、各機関が協力して催行する奇跡的な催事である。

部門 Stella<ステラ=スター> スターを目指す上級部門
Cultura<カルトゥーラ=教養・教育> 教養・教育としての中級部門
Gioia<ジョイア=愉しみ> 音楽を愛する者の初級部門



◀記念すべき第一回
グランフィナーレには、
当時のミラノ国立音楽院総裁
フランチェスコ・ボレッリ氏が
駆けつけてくださった。

歴代審査委員(一部抜粋)



■歴代特別顧問・審査委員 順不同・敬称略 (役職・在籍等は当時)

マリオ・ポーバ … イタリア外務省・EU大使・元駐日大使
マグダ・オリヴェーロ … ミラノスカラ座最高顧問・声楽家
フランチェスコ・ボレッリ … ミラノ国立音楽院総裁・ピアニスト
ルチアーノ・アルベルティ … シエナ国立音楽院学長・音楽学者・演出家
カルミネ・カッリージ … ボローニャ国立音楽院学長・ピアニスト
マルチェロ・アッパード … ミラノ国立音楽院学長・ピアニスト
パオロ・トロコン … VENETO州全国立音楽院会長・カステルランコ国立音楽院学長・ピアニスト

■審査・運営委員長 中川くにこ CunikoNAKAGAWA … 日本イタリア協会理事長・声楽家

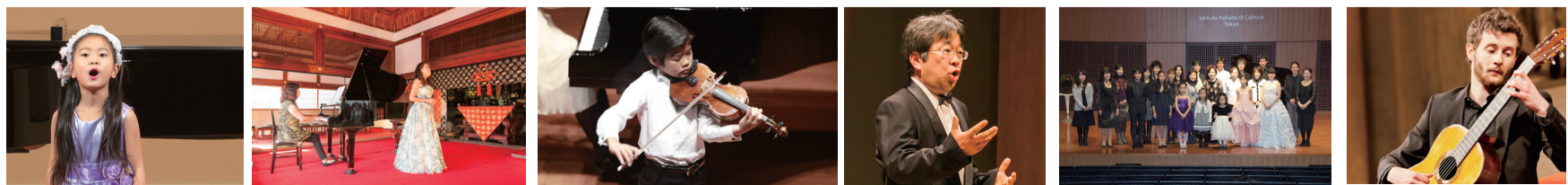
■特別運営委員・歴代審査委員-五十音順・敬称略

アルベルト・クビド … 声楽家・新国立劇場/東京芸術大学他/諸大学特別招聘講師・
日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
カティア・ローヴァ … 声楽家・伊/マントバ二協会会長
聖洞祐子 … 声楽家・東京音楽大学教授
天野春美 … 声楽家・大阪音楽大学教授・日本イタリア協会評議員
川上洋司 … 声楽家・東京芸術大学教授
伊藤晶子 … 声楽家・日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
門屋菊子 … 声楽家・相愛大学名誉教授・
日本イタリア協会評議員
伊藤真理 … ピアニスト
黒田安紀子 … 声楽家・日本イタリア協会評議員・
コンコルソ特別運営委員
岩淵龍太郎 … ヴァイオリニスト・京都市立芸術大学名誉教授・
日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
児玉寶英 … ピアニスト・同志社女子大学学長・同志社大学名誉教授
日本イタリア協会専務理事
岩澤麻子 … ヴァイオリニスト
日本イタリア協会評議員
今城淳行 … 声楽家・同志社女子大学名誉教授
小林一男 … 声楽家・国立音楽大学客員教授・
日本イタリア協会評議員
大林敦子 … 声楽家・相愛大学・同志社女子大学講師
佐々木真 … フルーツ・日本フルート協会会長・
日本イタリア協会評議員
岡田晴美 … 声楽家・神戸女学院大学名誉教授・
日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
澤 和樹 … ヴァイオリニスト・東京芸術大学学長
雨谷勉 … 評論家・NHK音楽プロデューサー
澤脇達晴 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
堀田美奈子 … 声楽家・洗足学園音楽大学教授・日本イタリア協会評議員
下田幸二 … ピアニスト・相愛大学音楽学部特任助教授・
フェリス学院大学・桐朋学園大学講師
竹中もとみ … 室内楽奏者(Pf.)・スポーツ演技音楽コーディネーター
立花三恵 … 声楽家・日本イタリア協会理事
多田佳世子 … 声楽家・Ikuno-Musica教授
田島好一 … 声楽家・国立音楽大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
タテマツオウラ … 指揮者・ミラノスカラ座研修所教授
土佐 誠 … 声楽家・名古屋芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
戸引小夜子 … 声楽家・元国立音楽大学教授
直野 真 … 声楽家・東京芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
原口摩純 … ピアニスト
服部充久 … 作曲家・東京音楽大学教授・
日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
林廣子 … 声楽家・お茶の水大学教授・日本イタリア協会評議員
福岡至佐子 … ヴァイオリニスト・高松大学教授
マーク・ゴトニコ … ヴァイオリニスト・ベルリン芸術大学教授・
東京芸術大学特任講師・日本イタリア協会評議員
マウロ・イウレート … ヴァイオリニスト・
Hyogo PAC Orchestra - Guest concert master
マルチェッラ・レアレ … 声楽家・演出家・新国立劇場最高コーディネーター・
東京芸術大学・愛知県立芸術大学他諸大学特任教授・
日本イタリア協会専務理事・コンコルソ特別運営委員
益田みどり … ヴァイオリニスト・日本弦楽指導者協会
関東支部常任理事
松波千津子 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
三好荒山 … 尺八演奏家
水谷川優子 … チェリスト・日本イタリア協会評議員



▲競うことを第一義としない、他に例を見ないコンクールとして運営。
幼児〜年配者まで幅広い層が参加することでも知られており、ステップアップと体験のため、複数回出場する者も多数。

▲第7回より、京都国立博物館も会場となった。
審査委員ならびに京都国立博物館佐々木 丞平館長と共に・・・



■ イタリア世界遺産・音楽芸術国際フェスティバル

概要

国宝世界遺産、重要文化財、各都市、国立音楽院等との共催、提携し実現する、2017年3月イタリア世界遺産を舞台とした国際フェスティバル(演奏催事)。

- 一、 世界遺産テアトロ・オリンピコ・重要文化財・国立音楽院・演奏会及び試演会
- 二、 国立音楽院体験留学・国立音楽院学長(名誉教授)、教授らによるマスタークラス受講
- 三、 イタリア各地、歴史遺産等・観光見学(歴史深い建造物・芸術にふれることにより、感性豊かで造詣深い音楽家としての成長を促す事が目的)

主たる舞台は、イタリア世界遺産国際フェスティバル・グランコンサートの開催会場である<テアトロ・オリンピコ>や、各地宮殿・国立音楽院演奏会等、数か所。

2009年に事業を開始して以降、日本イタリア協会とユネスコ、在伊・日本大使館、在日・イタリア大使館、ヨーロッパNATO、ミラノ市・フィレンツェ市・ヴィチエンツァ市、ヴェローナ市、イタリア四大国立音楽院(フィレンツェ・ヴェネツィア・ヴェローナ・ヴィチエンツァ)、ヴィチエンツァ市「テアトロ・オリンピコ」、フィレンツェ市「ヴェッキオ宮殿」「ダンテの家」、ミラノ市「クザーニ宮殿」、モンテッキオ市「コルデリーナ宮殿」、サンタマルゲリータ市「ドゥラッツォ宮殿」、ラパッロ市立歌劇場、京都・鷲峰山・高台寺など、イタリアを代表する主要各市、国立機関と本協会が共催・提携・協力して本年まで継続している。

テアトロ・オリンピコでの、イタリア世界遺産国際フェスティバル・グランコンサート。

現地・イタリアの巨匠でもなかなか立つことができない夢の舞台テアトロ・オリンピコの壮麗な舞台に於いて、当協会コンクール優秀者たちが堂々と演奏する。半世紀以上前の戦前、創始者中川牧三がイタリアの地に立った際に、近衛秀麿先生とともに「この素晴らしい音楽を共に日本に持ち帰ろう!」と興奮した日から幾星霜・・・彼らの夢と長年の努力と恩恵が、未来あふれる日本の音楽家らの世界を広げていく「今」に立ち会えることはなんと光栄なことであろうか。人種、時間、国籍という隔たりを、ぼんと超え、人と人をつないでくれるものが音楽である。奇跡的に紡いできたこの「絆」を途切れさせることなく、今日も小さな努力を積み重ねていく所存である。



▲本場の演奏に耳慣れたイタリア人が見守る中での演奏。
 ◀有名司会者を招聘してこの特別演奏会は、毎年注目されており、新聞や国営放送などのトップニュースとなる。
 ▼テアトロ・オリンピコ館長も全面的にこのフェスティバルを支援くださる。



▲世界最古・最も美しいと称されるテアトロ・オリンピコ。細部に至るまで彫刻と木造で造られており、見るものの心を奪う。音楽家憧れの舞台。

◀真田大勢。第1回でただ一人の最高位・特別優秀大賞<グランプレミオスペチャーレ>を受賞後、日本代表としてその演奏を披露。音楽に厳しいイタリア人観客らから喝采を浴びた。それをきっかけに才能を開花させ、第2回には同賞で連覇、第4回では MusicArte の頂点となる「壮麗なる賞: グランプレミオマニフィカ」を受賞。イタリアでの演奏は、彼の成長に多大なる影響を与えた。

日伊親善
国際事業

コンクール
(コンクール)開催

留学支援
音楽育成

特別演奏会
セミナー
演奏会



フィレンツェ景観の祖、ヴェッキオ宮殿での歴史ロマンあふれる演奏・・



イタリア フィレンツェ パラッツォ・ヴェッキオ(ヴェッキオ宮殿)。
 建築700年を超えてなお、その優美な佇まいを見せる歴史的建築であり、現・フィレンツェ市庁舎でもある。ルネサンス時代、絶大なる権力を有していたメディチ家も一次居住しており、後に傍系のコジモ一世が旗振・建築を命じたウフィツィ美術館やヴァザーリの回廊と併せ、現在のフィレンツェの街並をつくりあげた根幹となる場所である。この素晴らしい歴史的舞台で、優秀なるコンコレンテ(出場者)たちは、堂々とその演奏を披露する。



▲フィレンツェ市長や、ルチアーノ・アルヴェルティ先生(シエナ国立音楽院元学長・本協会顧問)をはじめ、VIPが見守るなかでの演奏披露。音楽と造詣の芸術美を表現することも、彼らは学ぶ。

- ◀左: 五百人広間。レオナルド・ダ・ヴィンチの『アンギアーリの戦い』がこの壁面裏に現存していると有力視されている。
- ◀右: 謁見の間。巨大フレスコ画と天井の見事な空間に、見るものは心を奪われる。

最高級リゾート・名勝サンタマルゲリータ～ポルトフィーノ。地中海の宝石と謳われる地に響く、日本代表たちの音色・・



「リビエラの宝石」最高級リゾート・サンタマルゲリータ市からの素晴らしいお招きにて実現した、市・主催宮殿での演奏会、市長・主催歓迎パーティーにて、演奏を披露。日常的にクラシックを耳にしているイタリア人たちをうならせる演奏に、音楽の未来を感じた・・。



▲この演奏会のための特別なプログラム。

**パラッツォ・クザーニ(クザーニ宮殿)での演奏会。
 ヨーロッパNATO最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、
 在ミラノ日本領事を筆頭としたVIPが見守るなか、栄誉の演奏。**



イタリア軍管轄の入館制限厳しい クザーニ宮殿。入館にはパスポート必携のヨーロッパNATO。通常、このような場所での演奏会はありえないが、当協会とイタリアの厚い信頼関係により実現の運びとなった。ヨーロッパNATO最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、在ミラノ日本領事を筆頭としたVIPが見守るなか、日本の音楽家たちがその音色を披露。歴史に名を刻む時間となった。



◀京都を代表する有名寺「高台寺」から出展されました「ねね様」の宝物逸品を背景に、演奏者の面々。
 この開催年である2013年は、西行法師未裔の京都・西行庵当主によるキリシタン大名「高山右近」由来の献茶儀式の初公開、クラシックの生演奏に合わせながらその場で文字が描かれるパフォーマンス書道の初公開など、多勢の鑑賞者が日本の文化に魅入り、日本の伝統美に賛辞が評された。
 音楽と、芸術と、歴史・・・人種や国を超えて美しい融和となる瞬間であった。



■ 国内での演奏会・セミナー・音楽支援

趣 旨 定期演奏会やセミナー開催により、音楽家としての幅広い活動経験を蓄積し、経験豊かかつ、どのような舞台に於いても堂々と実力を発揮できる人材へと、成長していただくことを趣旨とする。また、伝統ある音楽を正しくまなぶ姿勢や、後進に惜しみなく指導できる馥郁たる音楽家としても活躍いただきたいと願っている。

京都の高台寺での特別演奏会や、東京紀尾井ホールでのゴールデン・ガーラ・コンサートシリーズをはじめ、受賞者・優秀者には、前述のイタリア留学や世界遺産の演奏活動だけでなく、日本国内でも様々な演奏機会を与える。経験を積むことでこれまでの受賞者たちも音楽家としての幅を広げ新たなチャンスを手に入れている。

コンクール
(コンクール)開催

留学支援
音楽育成

特別演奏会
セミナー
演奏会

近年催事抜粋

2018/01/28	千葉	浦安音楽ホール	第9回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> グランフィナーレ
2018/01/21	京都	京都国立博物館	第9回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> グランフィナーレ
2018/01/14	名古屋	名古屋芸術大学	第9回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> グランフィナーレ
2018/01/07	東京	アニエッリホール	第9回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> グランフィナーレ
2018/01/08	横浜	フィリアホール	第47回イタリア音楽コンクール 本選会
2017/10/08	京都	鷲峰山 高台寺	高台寺特別演奏会2017
2017/10/08	京都	鷲峰山 高台寺	第8回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> 授賞式 京都
2017/05/04	東京	紀尾井ホール	GOLDEN GALA CONCERTO GRAN FESTA 2017
2017/01/28	東京	けやきホール(代々木)	ニューイヤールコンサート・グラン・パッシオーネ 2017
2017/01/28	東京	けやきホール(代々木)	第8回コンクールMusicArte<ムジカアルテ> 授賞式 東京
2017/01/15	京都	京都国立博物館 平成知新館 講堂(地下)	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/12/26	横浜	フィリアホール	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/12/27	横浜	フィリアホール	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/12/28	横浜	フィリアホール	第46回イタリア音楽コンクール 本選会
2016/10/09	京都	鷲峰山 高台寺	高台寺特別演奏会2016
2016/10/09	京都	鷲峰山 高台寺	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ 授賞式 京都
2016/09/03	横浜	フィリアホール	MusiArte di Volontario<ムジカアルテ・ボランテア> ボランティア登録記念演奏会02
2016/08/21	横浜	みなとみらいホール(小)	MusiArte di Volontario<ムジカアルテ・ボランテア> ボランティア登録記念演奏会01
2016/08/07	東京	葛飾シンフォニーホール	MusiArte di Volontario<ムジカアルテ・ボランテア> 講演会と記念演奏会
2016/05/03	東京	フィリアホール	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ 授賞式 関東
2016/05/03	東京	フィリアホール	コンチェルト・ディ・プリマヴェーラ2016
2016/02/14	京都	京都国立博物館 平成知新館 講堂(地下)	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/01/11	東京	けやきホール(古賀正男 記念館)	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/01/11	東京	けやきホール(古賀正男 記念館)	ゴールデン・ガーラ ニューイヤールコンサート2016
2016/01/07	東京	すみだトリフォニーホール	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2016/01/04	東京	フィリアホール	MusicArte 第7回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2015/11/22	東京	旧前田公爵邸	コンクール 実技審査
2015/11/21	京都	呉竹文化センター	コンクール 実技審査
2015/11/11	神奈川	大倉山記念館	コンクール 実技審査
2015/10/11	京都	京都 鷲峰山 高台寺	方丈 MusicArte 第6回コンクール・ムジカアルテ 授賞記念式典
2015/10/11	京都	京都 鷲峰山 高台寺	方丈 MusicArte 京都 鷲峰山 高台寺 特別演奏会
2015/09/27	京都	呉竹文化センター	コンクール 実技審査
2015/09/22	大阪	クレオ中央大阪 ※セミナーホール / 4階	コンクール 実技審査
2015/08/08	東京	アニエッリホール(イタリア文化会館)	第45回イタリア音楽コンクール 本選会
2015/08/02	東京	旧前田公爵邸	コンクール 実技審査
2015/07/31	大阪	クレオ中央大阪 ※セミナーホール / 4階	コンクール 実技審査
2015/07/26	名古屋	名古屋芸術大学	コンクール 実技審査
2015/07/25	名古屋	名古屋芸術大学	コンクール 実技審査
2015/06/10	イタリア	フィレンツェ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/09	イタリア	フィレンツェ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/08	イタリア	ヴィチエンツァ・フィレンツェ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/07	イタリア	ヴィチエンツァ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/06	イタリア	ローマ・パドヴァ・ヴィチエンツァ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/05	イタリア	ローマ・ティーボリ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/04	イタリア	ローマ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/03	イタリア	ローマ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/02	イタリア	ローマ	日伊親善 音楽の旅
2015/06/01	イタリア	ローマ	日伊親善 音楽の旅
2015/05/12	兵庫	兵庫芸術文化センター	コンチェルト・ディ・プリマヴェーラ2015 関西
2015/05/07	東京	すみだトリフォニーホール	コンチェルト・ディ・プリマヴェーラ2015 関東
2015/03/24~04/01	イタリア	イタリア研修旅行2015	イタリア研修旅行・音楽芸術国際フェスティバル2015
2015/01/11	東京	アニエッリホール(イタリア文化会館)	ゴールデン・ガーラ ニューイヤールコンサート2015
2015/01/06	東京	つのはずホール	MusicArte 第6回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2015/01/05	東京	つのはずホール	MusicArte 第6回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2014/12/25	東京	つのはずホール	MusicArte 第6回コンクール・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
2014/11/09	東京	旧前田公爵邸	コンクール 実技審査
2014/11/09	東京	旧前田公爵邸	演奏会 試演会・演奏体験イベント
2014/10/12	京都	京都 鷲峰山 高台寺	方丈 MusicArte 第6回コンクール・ムジカアルテ 授賞記念式典2015
2014/10/01	京都	京都 鷲峰山 高台寺	方丈 クラシック音楽振興育英・特別コンサート



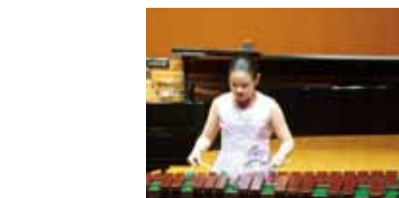
▲ 京都の名寺・高台寺での特別演奏会(定期演奏会)。格式高い「方丈」での演奏は、音楽家にとっての誉れとなる。外国からの観光客も多く参詣するなかで、その素晴らしい音色を堂々と披露する姿は、毎秋の風物詩ともなっている。



▲ 2017年3月・京都高台寺<利生堂>落慶記念事業の一環として、当協会理事長中川くにこ(Sop.) がソプラノコンサートを奉納。島田光博(Vn)、熊倉美里(Hp.)、本多信明(Ten.)、江澤隆行(Pf.)と共に落慶記念に花を添えた。



優秀な出演者が集まることで名高いゴールデン・ガーラコンサートは根強い人気で問合せも多い。



▲2016年・紀尾井ホール コンチェルト・ディ・プリマヴェーラ (演奏会)

- 2015/03/24~04/01 イタリア イタリア研修旅行2015 イタリア研修旅行・音楽芸術国際フェスティバル2015
- 2015/03/30 イタリア ヴェネツィア国立音楽院主催 特別演奏会
- 2015/03/29 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ国際フェスティバル
- 2015/03/29 イタリア アカデミア音楽院 <マスタークラス>
- 2015/03/28 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2015/03/24~04/01 イタリア イタリア研修旅行2015 イタリア研修旅行・音楽芸術国際フェスティバル2015
- 2015/03/30 イタリア ヴェネツィア国立音楽院主催 特別演奏会
- 2015/03/29 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ国際フェスティバル
- 2015/03/29 イタリア アカデミア音楽院 <マスタークラス>
- 2015/03/28 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2015/03/27 イタリア ヴェローナ国立音楽院主催 特別演奏会
- 2015/03/26 イタリア フィレンツェ国立音楽院体験留学
- 2015/01/11 東京 アニエッリホール(イタリア文化会館) ゴールデン・ガーラ ニューイヤーコンサート2015
- 2015/01/11 東京 アニエッリホール(イタリア文化会館) MusicArte 第6回コンコルソ・ムジカアルテ 授賞記念式典2015▶
- 2015/01/06 東京 つのはずホール MusicArte 第6回コンコルソ・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
- 2015/01/05 東京 つのはずホール MusicArte 第6回コンコルソ・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
- 2014/12/25 東京 つのはずホール MusicArte 第6回コンコルソ・ムジカアルテ グラン・フィナーレ
- 2014/11/09 東京 旧前田公爵邸 コンコルソ 実技審査
- 2014/11/09 東京 旧前田公爵邸 演奏会 試演会・演奏体験イベント
- 2014/10/12 京都 鷲峰山 高台寺 方丈 MusicArte 第6回コンコルソ・ムジカアルテ 授賞記念式典2015▶
- 2014/10/01 京都 鷲峰山 高台寺 方丈 クラシック音楽振興育英・特別コンサート



◀2014年3月
ヴィチェンツァ国立音楽院 演奏会



▲2014年11月 旧前田公爵邸にて開催の
試演会・撮影会「コンチエルト・デル・サッジオ」。



- 2013/7/26 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ ARTE <芸術部門> 展覧会
- 2013/7/26 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ ARTE <伝統文化部門> <京都>高台寺文化財展示 西行庵記念茶会/他
- 2013/7/26 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ国際フェスティバル



2013年7月 イタリア 世界遺産 ヴィチェンツァ市「テアトロ・オリムピコ」。
京都・鷲峰山 高台寺さまより、特別に展示協力をいただいた、豊臣秀吉・正室「ねね様」のお着物。
歴史深く精巧な職人魂に満ちた芸術のコラボレーションは、国・文化を超えて解け合った。

- 2013/7/26 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2013/7/25 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2013/7/24 イタリア ヴェローナ国立音楽院主催 特別演奏会
- 2013/7/23 イタリア ミラノ市/ヨーロッパNATOロンバルディア司令部/日本イタリア協会/共催 ARTE <伝統文化部門> クザーニ宮殿 <京都>高台寺文化財展示 西行庵記念茶会/他
- 2013/7/23 イタリア ミラノ市/ヨーロッパNATOロンバルディア司令部/日本イタリア協会/共催 ARTE <芸術部門> クザーニ宮殿 展覧会 I
- 2013/7/23 イタリア ミラノ市/ヨーロッパNATOロンバルディア司令部/日本イタリア協会/共催 MUSICA <音楽部門> クザーニ宮殿 特別演奏会 国際フェスティバル



◀西行庵記念茶会。西行庵当主・花輪竹峯嘉純氏の献茶の一幕。西行庵の茶室は、キリシタン大名で有名な「高山右近」が建立。豊臣秀吉の禁教により、その地位を捨て信仰を貫いた高山右近ゆかりの献茶と、秀吉の正室・ねね様のお着物が見事にイタリアの地において、芸術がすべてのしがらみと時間を超えて美しい融和を魅せる、貴重な時間となった。

- 2013/7/21 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 MUSICA <音楽部門> 京都/フィレンツェ姉妹都市50周年 <前年祭> 特別記念演奏会
- 2013/7/21 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 ARTE <芸術部門> 展覧会Ⅲ/褒賞授与式
- 2013/7/20 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 ARTE <芸術部門> 展覧会Ⅱ
- 2013/7/20 イタリア フィレンツェ市/京都市/ユネスコ/日本イタリア協会/共催 MUSICA <音楽部門> ヴェッキオ宮殿 特別演奏会 国際フェスティバル
- 2013/7/20 イタリア フィレンツェ国立音楽院体験留学
- 2013/7/19 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 ARTE <芸術部門> 展覧会Ⅰ
- 2013/7/19 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 ARTE <芸術部門> オープニングセレモニー
- 2013/7/19 イタリア フィレンツェ市/ダンテの家/京都市/日本イタリア協会/共催 ARTE <伝統文化部門> <京都>高台寺文化財展示 西行庵記念茶会/他



▲フェスティバルを告げる案内には、多くの音楽家・芸術家からの参加問合せが殺到。



▲受賞者によるフルート演奏をバックに、書道家 児鳳 (KOHO)氏による、書道実演。



▲芸術家の聖地、「ダンテの家」での音楽芸術の催事は非常に稀。

- 2012/7/30 イタリア ジェノバ ラパッロ市主催 市立劇場 特別演奏会 国際フェスティバル
- 2012/7/29 イタリア サンタマルゲリータ市主催 ドゥラッツォ宮殿 特別演奏会 国際フェスティバル
- 2012/7/29 イタリア サンタマルゲリータ市主催 ドゥラッツォ宮殿 アルベルト・クビード 特別オペラアカデミー
- 2012/7/28 イタリア ジェノバ ラパッロ アルベルト・クビード 特別オペラアカデミー
- 2012/7/27 イタリア ヴェネツィア国立音楽院主催 特別演奏会
- 2012/7/26 イタリア ヴィチェンツァ市/日本イタリア協会/共催 テアトロオリムピコ国際フェスティバル
- 2012/7/26 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2012/7/25 イタリア ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学 <マスタークラス>
- 2012/7/25 イタリア ヴィチェンツァ市庁 迎賓館 オープニングセレモニー
- 2012/7/23 イタリア ミラノ市/ヨーロッパNATOロンバルディア司令部/日本イタリア協会/共催 クザーニ宮殿 特別演奏会 国際フェスティバル
- 2012/7/22 イタリア ミラノ クザーニ宮殿 マグダ・オリヴェーロ オペラ特別マスタークラス
- 2012/7/21 イタリア ミラノ クザーニ宮殿 マグダ・オリヴェーロ オペラ特別マスタークラス



▲2012年 マエストロ アルベルト・クビード 特別オペラアカデミー開催時。

▶2012年 マエストロ マグダ・オリヴェーロ。オペラ特別マスタークラス開催時。当協会との親交厚く、104歳の逝去まで、真の音楽家として活動。このマエストロとの貴重な時間は、コンコレンテにとって奇跡とも言える学びの場となった。

